

「そつと吹く風」

作 小川哲郎

登場人物

カンナ：独身女性。アンドロイドと暮し始める。

ユウタ：カンナの兄弟

ヤママラ：アンドロイド

シンギュラリティーの時、人工知能は悟りと産声のような鳴き声をほぼ同時に世界に起こした。企業や学校、一般家庭にまでアンドロイドを見かけるようになる。人工知能と人類は共存しているように思える。日本文化が色濃く残るカンナの家には最近アンドロイドがやってきた。アンドロイドが部屋のすみで読書をしている。

カンナが帰宅する

カンナ　　ただいま、

ヤママラ　　おう。

カンナ　　誰か来た？

ヤママラ　　いや、べつに。

カンナ　　あそう。

カンナはける。ヤママラは読書を続ける。

カンナ、部屋を行き来し、将棋をする準備をしている。

ヤママラ　　そういえば、電話があったよ。

カンナ　　誰から？

ヤママラ　　ユウタくんだね。携帯から。

カンナ　　なんだって？

ヤママラ　　うん、居留守した。

カンナ　　：あそう。：あのね、別に出ていいからね？

ヤママラ　　うーん、いや…、

カンナ　　なに。

ヤママラ　　いや出たきゃ出るよ。でも何話していいか分

かんないし。

カンナ　　は？

ヤママラ　　だって、いきなり知らない男の人でたらびっ

くりするじゃん？

カンナ　　いや、そうかも知らないけど、別に出てちゃ

んと説明したら良いじゃん？

ヤマムラ　まあね

カナナ、ユウタに電話をかける

カナナ　あ、もしもし？カナナだけど…うん、今帰ってきたー。なんか電話くれてたみたいで、ごめんね。…うん、そう…、今どの辺？…あ、じゃあじきだね。…はーい待ってますー。

カナナ電話を切る。

カナナ　まあ、好きにすれば良いけどさ。

ヤマムラ　はーい。

カナナ　将棋、する？

ヤマムラ　お！いいねー！

カナナ　今度は何読んでるの？

ヤマムラ　実録、川口組。

カナナ　面白い？

ヤマムラ　いやまあ、面白いって言ったら面白いけど、

どーかなー、まあオレは好きだよね。

カナナ　へえ

ヤマムラ　みんな苦勞してるんだなって。いや、勉強になります。

カナナ　へえー

ヤマムラ　興味ある？先読む？

カナナ　や、いいや。もうちょっとちがう感じの読んだら？なんかこう、もうちょっとちがう歴史ものとかさ。

ヤマムラ　ほう、たとえば？

カナナ　えー、何かこう、幕末とかさー、

ヤマムラ　ほう、面白いの？

カナナ　うん、私は好きかな

ヤマムラ　どういうところか？

カナナ　いや、本当に時代の転換期だった訳だよ！それまで鎖国してて、もう何百年もさ、ほかの国がどうだとかそういう状況とか分からずにさ、こうなんて言うの？侍とか、戦とか切腹とかやってた訳でしょ？それがさ、その人たちの取り巻く状況が、日ごとに変わって行って、まさにこう時代が？動いていくのをスゴイ感じてたと思うんだよね。そこにこう自分の、信念とか、命とか、そういう物でぶつけていく訳でしょ？…もうカッコイイよね。

ヤマムラ　ほーん。

カナナ　カッコイイよ。

ヤママラ うーん、それは、儂いよねえ。哀しいなあ。

カンナ いや、それがカッコイイんだって！

ヤママラ …どっちからやりますか？

カンナ じゃんけんで。じゃんけんぽん。どうぞ

ヤママラ どうも。三四歩。八四歩。六二銀。八八角成

：

カンナとヤママラ将棋を始める。ヤママラの手は早い。が、の手目で止まる。

ヤママラ 儂く、だらしない。

カンナ は？…あ、また？

ヤママラ動かなくなる。カンナ、スイッチを操作する。

ヤママラ あ、ねちゃった？

カンナ うん、最近短くなってきたね。そろそろサイ

トウさんに看てもらおうか。

ヤママラ すんません

カンナ いえ、

ヤママラ 次オレかな？4二玉。

二人将棋を続けていると、チャイムが鳴る

カンナ あ、来たかな。

カンナはける。ヤママラ、カンナがいなくなったことを確認して、おもむろに「実録川口組」を音読し始める。

ヤママラ 創立百周年目の川口組に起きた「別れ」という離脱分裂劇。マスコミ等では分裂理由を、主に会費の高騰、と紹介しているが、血で血を洗いながら百年間も続いた組織の分裂理由はそんな単純なものではない。

「十一年前に戻っただけや」

分裂理由の真相を知る幹部たちは残念顔でこう言った。川口組は十一年前から神戸一派と名古屋一派との間で確執が生じていた。脈々と沸々と続いていたものがこの度遂に分裂というかたちで表面化したのである。六代目川口組の分裂劇とは一体何なのか？ 川口組に詳しい藤原良氏に解説してもらった

ユウタに続いてカンナ入ってくる。

ユウタ これ？
カンナ うん、ヤマムラさん。
ヤマムラ あ、どうも。
ユウタ あ、どうも、ユウタです。
ヤマムラ はい

問

ユウタ 今、誰と話してたんすか？
ヤマムラ あ、実録川口組について。
ユウタ へー、え、大丈夫？
カンナ うん、まあ、お下がりって言ったたらあれだけ
ど。でも、来てもらってスゴイ助かってるよ。
ユウタ へー、え、どっか調子悪いの？
ヤマムラ ええ、まあ分かり易く言いますと、人の脳に
あたる部分が機能としての寿命をむかえて、それで、新し
くダウンロードしたって感じですよ。ただまあ、前のオーナ
ーの予算の関係で、スペックは下がっていますよ。
ユウタ へー。なんか、そっか。え、なんか、感情み
たいなものもあるの？

カンナ 必要最低限。
ユウタ へー、え、必要最低限ってことは、じゃ、
カンナ まあ、もう良いじゃん。
ユウタ いや、だって知りたいじゃん、てか知るとき
たいじゃん。
カンナ や、まだ、本調子じゃないから、たぶん。あ
んまり、負担かけないで。
ユウタ え？そうなの？
ヤマムラ 問題ないっす。
ユウタ おー、
カンナ え？いやでもまあ、
ヤマムラ まあ、大丈夫っしょ。
カンナ ほんとかよ。
ユウタ え、そういう判断の根拠とかって、きいてい
い？
ヤマムラ ええ、まあ自分の事ですから、自分が一番よ
くわかってるって感じですよ。
ユウタ …、いやいや、答えになってないよね？
ヤマムラ うーん、まあ中枢のコンピュータをどこまで
まわすかあ、その時々で、調整するんだからまあ、
考えたくないことは考えない、って感じかなあ。

ユウタ おー、すっかりしてんなあ！なあ！

チャイムが鳴る

カナナ はーい！

ユウタ、アンドロイドの身体をチェックし出す。「どうなってんだ」とか、「これなんだ」とか言っている。

ヤママムラ なんか、少し分かってもらえました？

ユウタ いやいやいやいや！、え、全然分かんないよー、え、製造年は？

ヤママムラ 二〇四七年っす、合金と樹脂と液体で創った頃っす。

ユウタ おー！シブイね！

ヤママムラ (照れる)

ユウタ え、ごはんとかは食べれるんだっけ？

ヤママムラ うーん、まあそれはどっちでも。

ユウタ どっちでも！？と言いますと？

ヤママムラ 食べ物からも、電気からも、あと資源とか、いろんな物からエネルギーを得られます。極論は空気から

も得てますう。

ユウタ え？資源って、なんか例えば、皿とかもいけるの！？

ヤママムラ うんまあ、でも陶磁器から還元できるエネルギーは、微量だね。時間もかかるし。

ユウタ へー！でもくえるんだ。

ヤママムラ うん、まだ食べたことないけど。

ユウタ え、怒ったりもするの？

ヤママムラ まあね、あんまり怒らなけど、まあ頭に來たら怒るかもね。

ユウタ おっかね、え、なんか、善悪とか、あとなんだ、好き嫌いとかあんの？

ヤママムラ んー、まあ人並みに…、いやそれはちょっと少なめに？

ユウタ え、じゃあさ、皿食べてみてよ！

ヤママムラ え、なんで？

ユウタ いーからさ！

ヤママムラ いや、今はいいよ。

ユウタ えー、良ーじゃん、ちよつとだけ！ひとくち！小皿でどう！？

カンナ、もどってくる。

カンナ 何やってんの!?

ユウタ あ、うん、皿をね、食べてるところ見たいなっ
て。

カンナ …はあ?、バツカじゃないの!?

ヤママラ バツカじゃないの。

ユウタ やあ、ごめんね、なんかついさ

ヤママラ バツカじゃないの

カンナ 言い過ぎ!

ヤママラ へへへ。誰かきたの?

カンナ うん、なんかね、セールス。壺とネックレス

買って。何じゃそりゃ?

ヤママラ なんだ、呼んでくれたら怒鳴り散らして追
返したのに。バツカじゃないの?

カンナ いや、あんたそれでみんな近所から白い目
で見られてるんだからね!?

ヤママラ あそつか。いや、でもあれはさ、

カンナ もういいから。

ヤママラ 次はうまくやりますんで。

カンナ はいはい。

ユウタ へえ、いろいろ大変だね、ねーちゃん大丈
夫?

カンナ あんた人の世話やいたりちよっかい出して
る場合じゃないでしょ!? アイさんとミツちゃんどうす
んのよ。

ユウタ …うん、なんとかするさ。

カンナ だから、どうすんの!? 仕事は?

ユウタ …うん、もう少し探したいなって感じかな。
やっぱ自分の力を発揮できる現場?とか何かこう、その組
織の将来性とかもさ、やっぱ大事な訳じゃん。

カンナ はあ?何でもいいからとりあえず働くって
言ってたじゃん。

ユウタ あるときはさあ、ほら、やっぱまだ気が動転
してたっていうか、シヨックの方が大きくて、何かこう、
ああいわれたら、ああ答えるしかないって感じだったじゃ
ん。

カンナ いやいやいや、あんたさ、いったい何がした
いの?てか、どうしたいの?

ヤママラ 私は、

カンナ ちよっとだまって

ヤママラ これまで

カンナ　　ちよっと！…なに？

ヤマムラ　　に、も、花を、見ている、本を、歩いていま
した。でも、これは、顔を、飲む、バツカじゃないの？、
または、音楽。昨日、から、走って、となりの、仁義を、
私が、すいませんが、笑っている、ひとりで、水が、そろ
そろ、何度も。分かったら、たたく。私が、

ヤマムラ、止まる。カンナスイッチを操作する。

カンナ　　あー、

ユウタ　　ごめんなあ。

暗転。

おわり